

□ : 山口県で陽性が確認されたもの

6 げっ歯類等の調査結果

検査対象		感染症名	検査方法	実施年度	陽性/ 検査件数	検出率%
げ っ 歯 類 等 ※	糞便	エルシニア感染症	病原体分離	H24～26	5/151	3.3%
		サルモネラ症	病原体分離	H25～26	0/50	0.0%
	尿	レプトスピラ症	遺伝子検出	H27～29	0/95	0.0%

※ ネズミ目及びウサギ目に属する動物（ネズミ、ハムスター、リス等）

注意を要する感染症（げっ歯類等）



糞便を介した感染

エルシニア感染症

〈症状〉

- ・腹痛、下痢、嘔吐などの食中毒症状
- ・時に、結節性紅斑^{※1}、関節炎、咽頭炎、心筋炎、髄膜炎及び敗血症^{※2}など多彩な症状を呈することがある

尿を介した感染

レプトスピラ症

〈症状〉

- ・38～40℃の発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛等
- ・重症の場合は、発症後5～8日目に黄疸、出血、腎機能障害等が現れる

- ※1 結節性紅斑：皮膚の下に圧痛を伴う赤い隆起（結節）ができる炎症性の病気
 ※2 敗血症：血液中に病原体が入り込み、重篤な全身症状を引き起こす病気

予防方法

- 動物の糞便を適切に処理する。
- 口移しで餌を与えたり、食器を共用するなど、動物との過剰なふれあいを避ける。
- 動物と接触した際には、手洗いを励行する。